

(Partial Translation)

JP-U 64-5384

1. Title of the Invention

CONNECTOR MOUNTING STRUCTURE

2. Claim for Utility Model Registration

Connector mounting structure characterized in that:

plate springs (4, 5) are mounted on both outer surfaces (2, 3) of a frame-inside connector (1);

said plate springs (4, 5) are fitted and inserted into an opening portion (7) of a connector mounting panel (6);

metallic engaging members (9, 10) mounted on a frame-outside connector (8) are fitted with said plate springs (4, 5) inserted; and

said frame-inside connector (1) and said frame-outside connector (8) arrange therein a frame-inside cable (11) and a frame-outside cable (12), respectively, and electrically connect them to each other.

公開実用 昭和64- 5384

K-2326

④日本国特許庁 (JP)

①実用新案出願公開

②公開実用新案公報 (U)

昭64- 5384

③Int. Cl.

H 01 R 13/74
13/639

識別記号

厅内整理番号

C-6901-5E
Z-8623-5E

③公開 昭和64年(1989)1月12日

審査請求 未請求 (全頁)

④考案の名称 コネクタ取付構造

⑤実開 昭62-100111

⑥出願 昭62(1987)6月30日

⑦考案者 鈴木 敬三 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内

⑧考案者 伊藤 裕子 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内

⑨出願人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

⑩代理人 弁理士 井桁 貞一

明細書

1. 考案の名称

コネクタ取付構造

2. 実用新案登録請求の範囲

架内側コネクタ（1）の両外側表面（2、3）に、板ばね（4、5）を取り付け、該板ばね（4、5）をコネクタ取付用パネル（6）の開口部（7）に嵌挿せしめ、該嵌挿した板ばね（4、5）に、架外側コネクタ（8）を取り付けた掛け止め金具（9、10）を嵌合し、

上記架内側コネクタ（1）と架外側コネクタ（8）がそれぞれ内装する架内ケーブル（11）と架外ケーブル（12）を電気的に接続したことを特徴とするコネクタ取付構造。

3. 考案の詳細な説明

〔概要〕

コネクタ取付構造であって、コネクタ取付用

実開64-5384

967

1

公開実用 昭和64- 5384

パネルの開口部に架内側コネクタに固定した板ばねを嵌押せしめて取付作業の効率向上を図ったものである。

(産業上の利用分野)

本考案は、コネクタ取付構造に関する。

(従来の技術)

従来より、架内ケーブルと架外ケーブルを電気的に接続するために、架内側コネクタと架外側コネクタをパネルに取り付ける構造が提案されているが、それは第3図に示すものであった。

即ち、コネクタ取付用パネル26の架内側に、架内側コネクタ21をねじ24、25で固定し、開口部27から架外側に突出した掛け止め金具受け23、24に架外側コネクタに取り付けた掛け止め金具29、30を嵌合したものである。

この構造により、架内ケーブル31と架外ケーブル32は相互に電気的に接続される。



2

968

(考案が解決しようとする問題点)

上述した従来技術は、架内側コネクタ21をコネクタ取付用パネル26の内側からねじ24、25により、固定しているが、これは、電波輻射や静電気障害の対策としてフレームグランドを確実に落とすためである。

しかし、このことは反而ねじ止めの工数が多くなり、コネクタの取付作業の効率を低下させているという問題点を招来している。

例えば、回線が128あるとすれば、1つの架内側コネクタ21に2つのねじ24、25を取り付けるとして、合計256個のねじが必要となり、作業効率は明らかに低い。

本考案の目的は、コネクタの取付作業の効率を向上させることにある。

(問題点を解決するための手段)

上記問題点を達成するための手段は架内側コネクタ1の両外側表面2、3に、板ばね4、5を取り付け、該板ばね4、5をコネクタ取付用パネル6

公開実用 昭和64- 5384

の開口部7に嵌押せしめ、該嵌押した板ばね4、5に、架外側コネクタ8に取り付けた掛け止め金具9、10を嵌合し、上記架内側コネクタ1と架外側コネクタ8がそれぞれ内装する架内ケーブル11と架外ケーブル12を電気的に接続したことを特徴とする。

〔作用〕

コネクタを取り付けるには、先ず、架内側コネクタ1を板ばね4、5に取り付けたままコネクタ取付用パネル6の開口部7に、架外から挿入する。

このとき、上記板ばね4、5の弾発力「1、「2により該板ばね4、5は開口部7の内壁7A、7Bに押圧され、架内側コネクタ1は固定される。

その後、板ばね4、5に穿設した長孔13、14に架外側コネクタ8の掛け止め金具9、10を嵌合する。

従って、従来のねじを使用する場合に比較して、本考案では板ばね4、5を開口部7に嵌押せ



しめるだけで、いわばワンタッチで架内側コネクタを取り付けることができるるので、作業効率は向上した。

〔実施例〕

以下、本考案を、実施例により添付図面を参照して、説明する。

第1図は、本考案の実施例を示す平面図である。

同図において、コネクタ取付用パネル6には開口部7が穿設されており、該開口部7には架内側コネクタ1に取り付けた板ばね4、5が嵌挿している。

上記板ばね4、5は、架内側コネクタ1の両外側表面2、3にねじ2人、3人で取り付けられており、それぞれが該コネクタ1の先端部1人から基端部1Bに向かうに従って外方に穎やかに傾斜しており、開口部7近傍のパネル内壁6A、6Bに当接する直前で該内壁6A、6Bに平行に内方に曲がりその後直角をなして開口部内面7A、

7 Bに板ばね1、5の外方へ向かう押圧力「1」、
「2」に乘じて、接触している。

板ばね 1、5 が、このように開口部内面 A、
B に接触しているため、梨内側コネクタ 1 のフ
レームグランド処理が行われる。

また、板ばね4、5のパネル内壁6A、6Bに平行な部分4A、5Aと、開口部内面7A、7Bへの接触部分4B、5Bと、第2図の側面図から明らかなように架内側コネクタ1の上下のフランジ部分1C、1Dにより架内側コネクタ1の抜けが防止されている。

上記板ばね4、5の架外側には、長孔13、14が形成され、該長孔13、14には架外側コネクタ8にはね15、16を介して取り付けた掛け止め金具9、10の先端部9A、10Aが嵌合している。

かかるコネクタ取付構造により、それぞれ架外側コネクタ1と架外側コネクタ8が内装している架内ケーブル11と架外ケーブル12は電気的に接続している。

٩٧٢



次に、第2図の側面図に基いて上記構成を有する本考案の作用を説明する。

先ず、矢印Aで示すように架外から、板ばね4、5が取り付けられた架内側コネクタ1を、パネル開口部7に挿入し、フランジ部分1C、1Dがパネル外壁6C、6Dに当接するまで板ばね4、5の開口部内面7A、7Bに対する押圧力「1、12（第1図）に抗して、押し入れる。

これにより、いわばワンタッチで架内側コネクタ1はパネル6に取り付けることができ、後は架外側コネクタ2の掛け止め金具9、10の先端部9A、10Aを板ばね4、5の長孔13、14に嵌合させる。

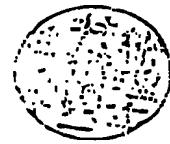
（考案の効果）

本考案においては、コネクタ取付用パネルの開口部に架内側コネクタに取り付けた板ばねを嵌押せしめると共に該板ばねに架外側コネクタに取り付けた掛け止め金具を嵌合するという技術的手段を講じたために、架内側コネクタを上記板ばね

8 は架外側コネクタ、
9、10 は掛け止め金具、
11 は架内ケーブル、
12 は架外ケーブルである。

出願人 富士通株式会社

代理人 弁理士 井桁貞一



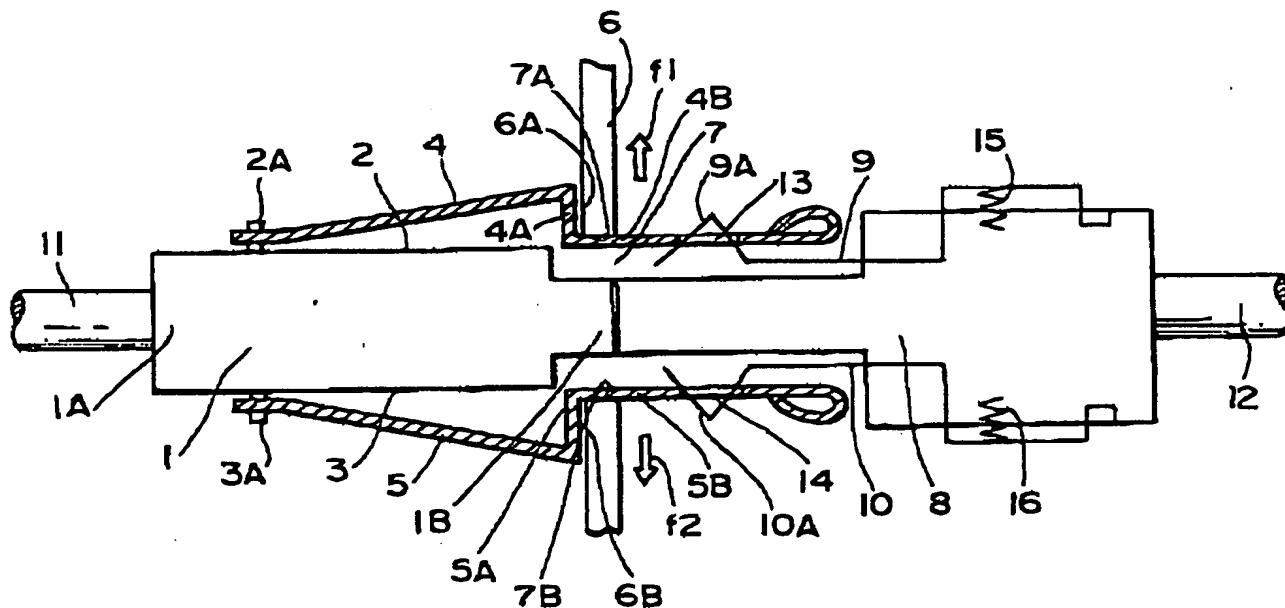
9

975

公開実用 昭和64- 5384

- 1… 架内側コネクタ
- 2,3…両外側表面
- 4,5…板ばね
- 6…コネクタ取付用パネル
- 7…開口部

8… 架外側コネクタ
 9,10… 掛け止め金具
 11… 架内ケーブル
 12… 架外ケーブル

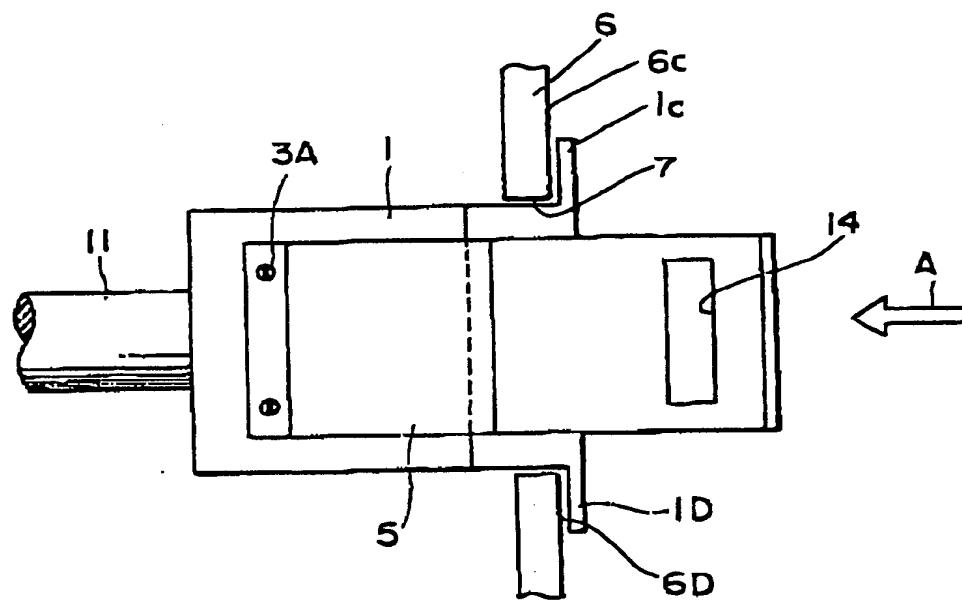


本考案の実施例を示す平面図

第一圖

٩٧٦

実開64-5384 · 1

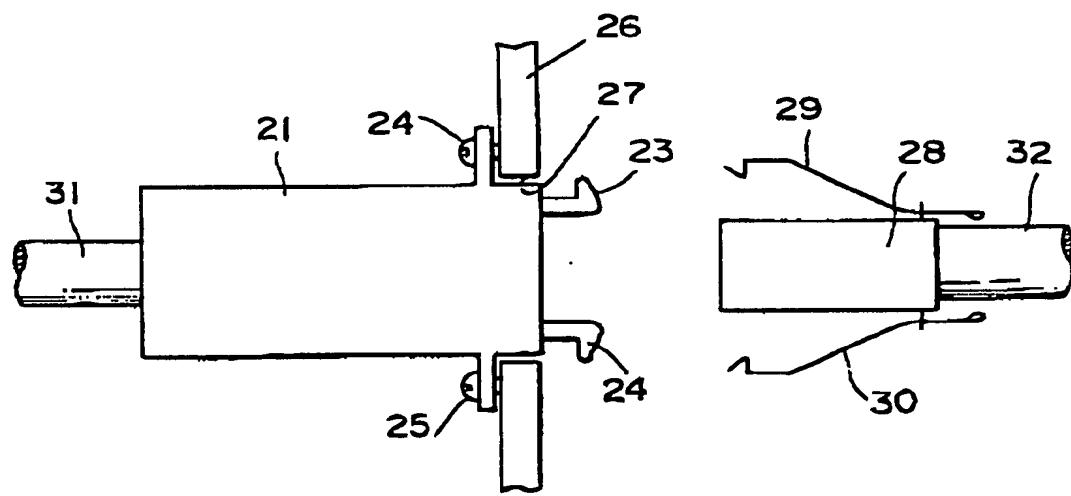


本考案の作用を説明する側面図

第 2 図

977

実開 64-5384 11



従来技術を説明する平面図

第 3 図

代理人弁理士 井 柄 貞

紫陽 63-5384